




**TAMRON®**

産業の眼を創造貢献するタムロン

# 2006年12月期 決算説明会

2007年2月15日(木)  
株式会社タムロン (証券コード:7740)



# 目次

## 決算概要

1. 事業概要	P.4
2. 2006年度通期業績	P.5
3. 2006年度セグメント別業績	P.6
4. 財政状況	P.7
5. キャッシュフロー計算書	P.8
6. 設備投資、減価償却、研究開発費	P.9
7. 有利子負債、棚卸資産	P.10

## 2007年見込

1. 2007年度通期予想	P.12
2. 2007年度セグメント別	P.13
3. 売上高推移	P.14
4. 営業利益推移	P.15
5. 当期利益推移	P.16
6. セグメント別推移	P.17
7. 設備投資、減価償却	P.18
8. 研究開発費	P.19
9. 配当金の見通し	P.20

## 中期戦略

1. ブランドメッセージ	P.22
2. 中期目標	P.22
3. 2009年度セグメント別	
写真関連事業	P.23
レンズ関連事業	P.24
特機その他事業	P.25
4. 2007年度の課題	P.26

# 決算概要

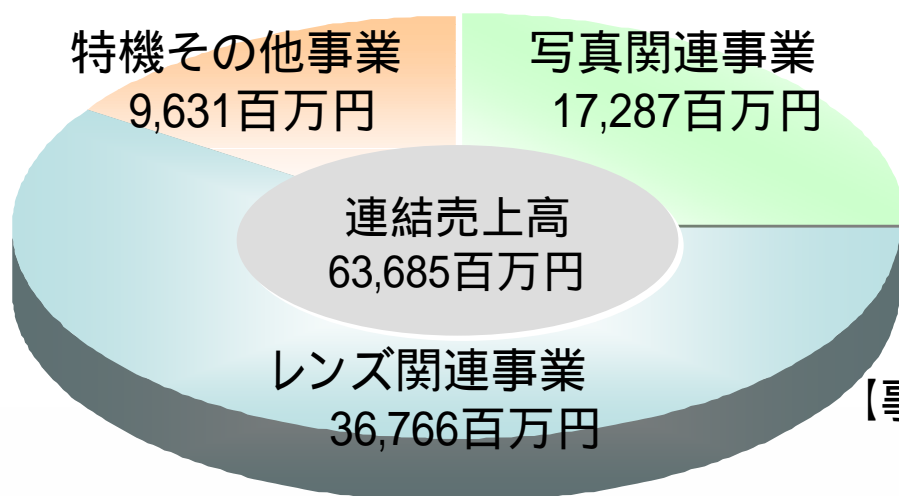
# -1. 事業概要

## 【会社情報】

- ❖ グループ会社（連結子会社）：6社
- ❖ 国内事業所数：4 / 営業拠点：7
- ❖ ISO 9001、ISO 14001 取得
- ❖ 連結売上高：63,685 百万円（06年12月期）
- ❖ 連結従業員数：5,024 人（06年12月末）
- ❖ 連結総資産：49,528 百万円（06年12月期）

## 【事業内容】

- ❖ 写真関連事業  
一眼レフカメラ用交換レンズ
- ❖ レンズ関連事業  
ビデオカメラ用レンズ  
デジタルカメラ用レンズ  
携帯電話用レンズユニット
- ❖ 特機その他事業  
CCTVカメラ用レンズユニット  
プロジェクター用レンズユニット 精密金型  
精密プラスチック成形品 原器  
各種光学用デバイス部品等



【事業セグメント別売上高】  
2006年12月期

## -2. 2006年度通期業績

(単位:百万円)

	05年実績	06年計画	06年実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	59,607	61,000	63,685	4,078	106.8%	2,685	104.4%
営業利益	4,803	5,800	6,625	1,821	137.9%	825	114.2%
経常利益	4,225	5,000	5,608	1,383	132.7%	608	112.2%
当期利益	3,343	3,500	4,028	685	120.5%	528	115.1%
1株当たり 当期純利益 (円)	* 117.48	124.07	142.82	25.34	-	18.75	-

\* 平成17年8月19日付けで行った1:2の株式分割による調整を反映しております。

## -3. 2006年度 セグメント別業績

		05年実績	06年計画	06年実績	増減(対前年)	増減(対計画)
写真関連 事業	売上高	14,912	15,600	17,287	115.9%	110.8%
	営業利益	1,788	2,300	2,792	156.1%	121.4%
	営業利益率	12.0%	14.7%	16.2%	-	-
市場の拡大及び新製品の投入による						
レンズ関連 事業	売上高	33,800	35,600	36,766	108.8%	103.3%
	営業利益	4,418	4,800	5,254	118.9%	109.5%
	営業利益率	13.1%	13.5%	14.3%	-	-
DSC市場の拡大による						
特機 その他 事業	売上高	10,894	9,800	9,631	88.4%	98.3%
	営業利益	649	600	505	78.0%	84.2%
	営業利益率	6.0%	6.1%	5.3%	-	-
リアプロテレビ市場の衰退による						
消去又は全社		2,052	1,900	1,927	93.9%	101.4%
合計	売上高	59,607	61,000	63,685	106.8%	104.4%
	営業利益	4,803	5,800	6,625	137.9%	114.2%

## -4.財政状況

(単位:百万円)

	2005	2006	増減 (対前年)	備 考
現金・預金	11,496	13,409	1,912	主に当期純利益の増加、在庫の圧縮
受取手形・売掛金	7,360	11,006	3,645	売上増加による
たな卸資産	8,026	7,045	981	在庫削減活動による圧縮
その他流動資産	1,663	1,011	651	主に未収入金の減少による
固定資産	15,534	17,056	1,521	主にソフトウェア、金型の増加による
資産合計	44,081	49,528	5,447	
流動負債	11,544	14,076	2,532	主に買掛金及び未払法人税の増加による
固定負債	4,195	3,926	269	長期借入金の減少による
負債合計	15,740	18,002	2,262	
純資産(資本)合計	28,341	31,525	3,184	利益剰余金の増加による
負債純資産合計	44,081	49,528	5,447	

## -5. キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	05年	06年 (実績)	備 考
営業活動	6,707	7,328	税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の増加及び棚卸資産の圧縮による
投資活動	5,120	4,405	ERPシステム投資を中心とした無形固定資産の取得による
フリーキャッシュフロー	1,586	2,923	
財務活動	1,500	1,175	配当金の支払いによる
現金及び 現金同等物の残高	11,496	13,409	前期末と比較して19億12百万円増加



## -6. 設備投資、減価償却、研究開発費

(単位:百万円)

	05年	06年 (実績)	増減	備考
設備投資	6,017	3,816	2,201	
減価償却	2,210	2,620	409	
研究開発費	2,590	2,583	7	

## -7.有利子負債、棚卸資産

(単位:百万円)

	03年	04年	05年	06年 (実績)
有利子負債	8,877	8,029	7,439	7,326
借入金依存度	27.1%	19.7%	16.9%	14.8%
棚卸資産	8,087	8,593	8,026	7,045
回転月数	1.8ヶ月	1.6ヶ月	1.6ヶ月	1.3ヶ月

# . 2007年見込

# - 1.2007年度通期予想

(本予想は、為替レート1米ドル=115円、1ユーロ=150円を前提としております。)

(単位：百万円)

	06年実績	中間見込	通期見込	増減 (対前期)	
				額	率
売上高	63,685	30,000	64,000	315	100.5%
営業利益	6,625	2,550	6,640	15	100.2%
経常利益	5,608	2,300	5,800	192	103.4%
当期利益	4,028	1,600	4,100	72	101.8%
一株当たり 当期純利益(円)	142.82	56.72	145.34	-	-

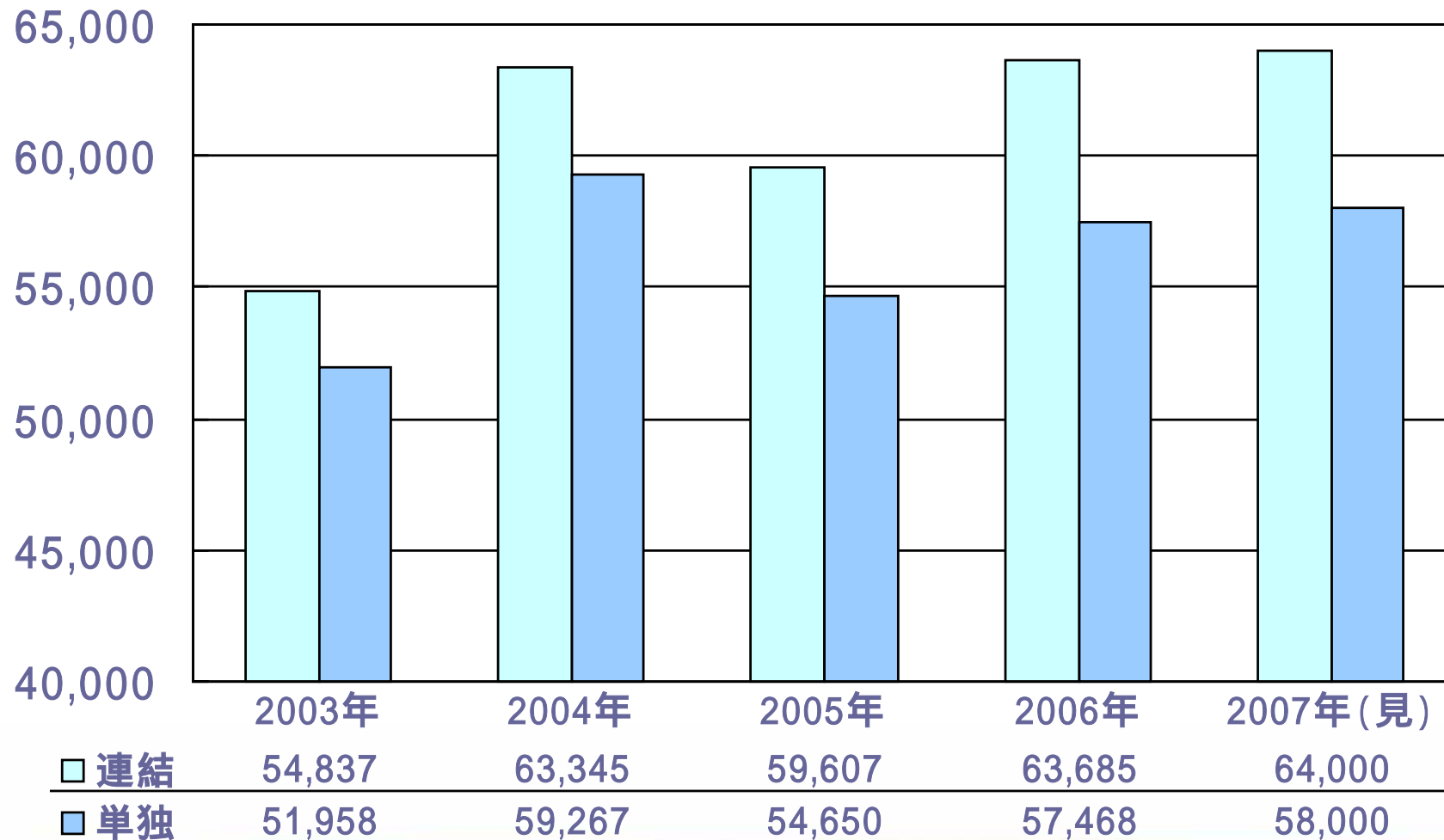
## -2. 2007年度 セグメント別予想

		2006年実績	通期見込	増減額(対前年)	増減率(対前年)
写真関連 事業	売上高	17,287	22,740	5,453	131.5%
	営業利益	2,792	3,810	1,018	136.5%
	営業利益率	16.2%	16.8%	0.6%	-
市場の拡大及び新製品の投入による					
レンズ関連 事業	売上高	36,766	33,770	2,996	91.9%
	営業利益	5,254	4,330	924	82.4%
	営業利益率	14.3%	12.8%	1.5%	-
DSC市場における価格競争激化による					
特機その他 事業	売上高	9,631	7,490	2,141	77.8%
	営業利益	505	260	245	51.5%
	営業利益率	5.3%	3.5%	1.8%	-
リアプロテレビ市場の衰退による					
消去又は全社		1,927	1,760	167	-
合計	売上高	63,685	64,000	315	100.5%
	営業利益	6,625	6,640	15	100.2%

# -3. 売上高推移

(百万円)

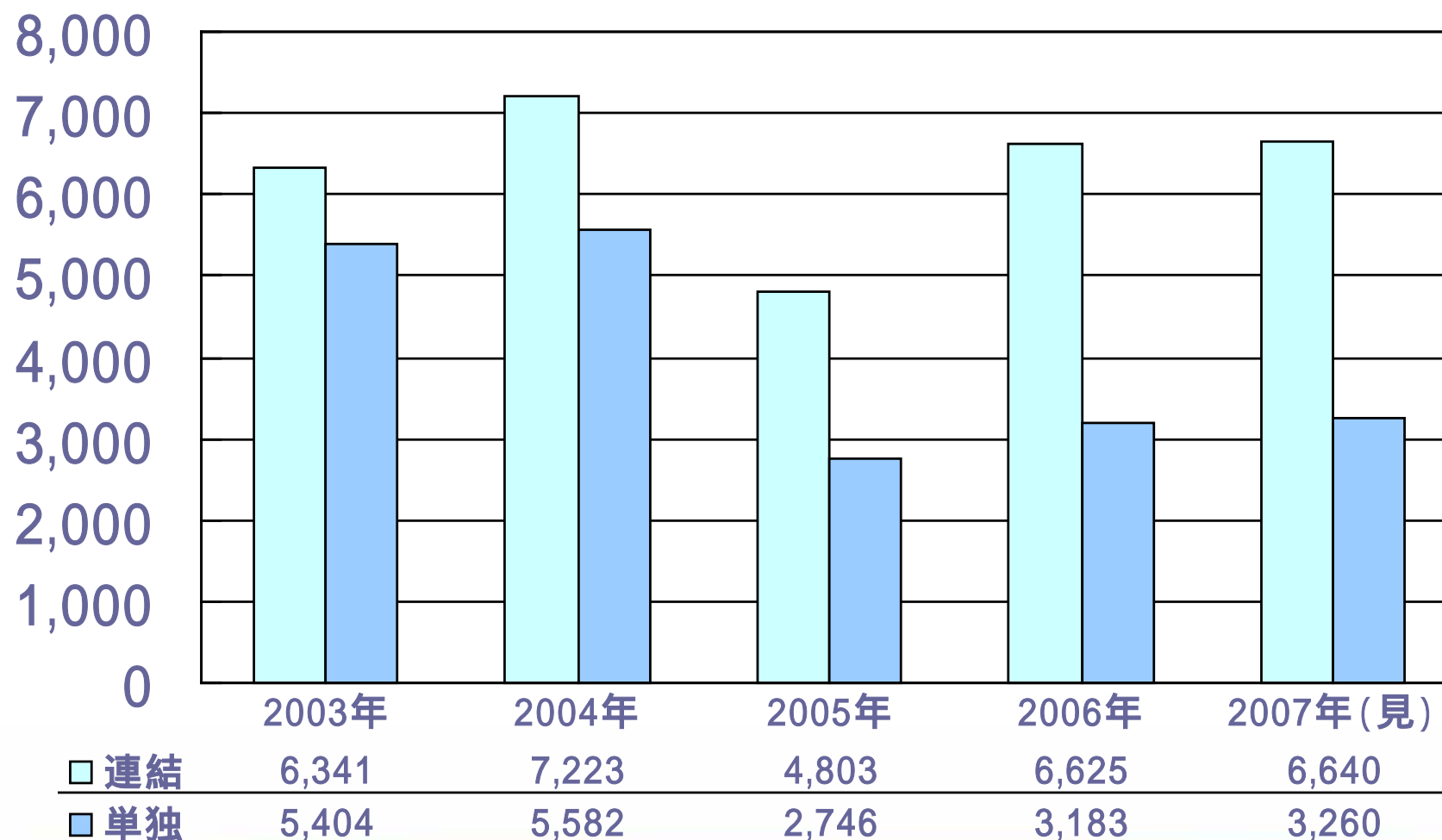
■ 連結 ■ 単独



# -4. 営業利益推移

(百万円)

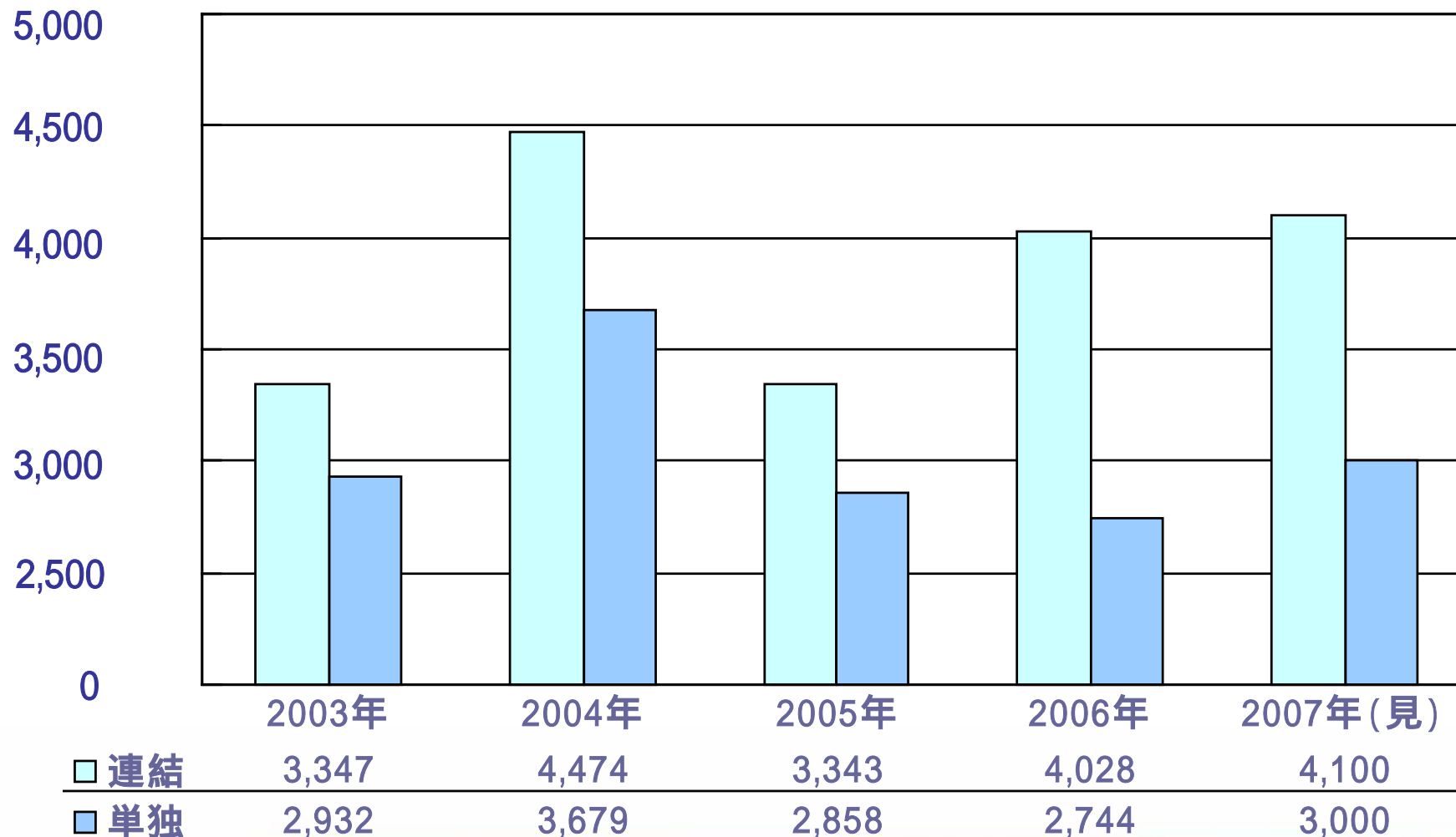
■ 連結 ■ 単独



# - 5. 当期利益推移

( 百万円 )

□ 連結 □ 単独

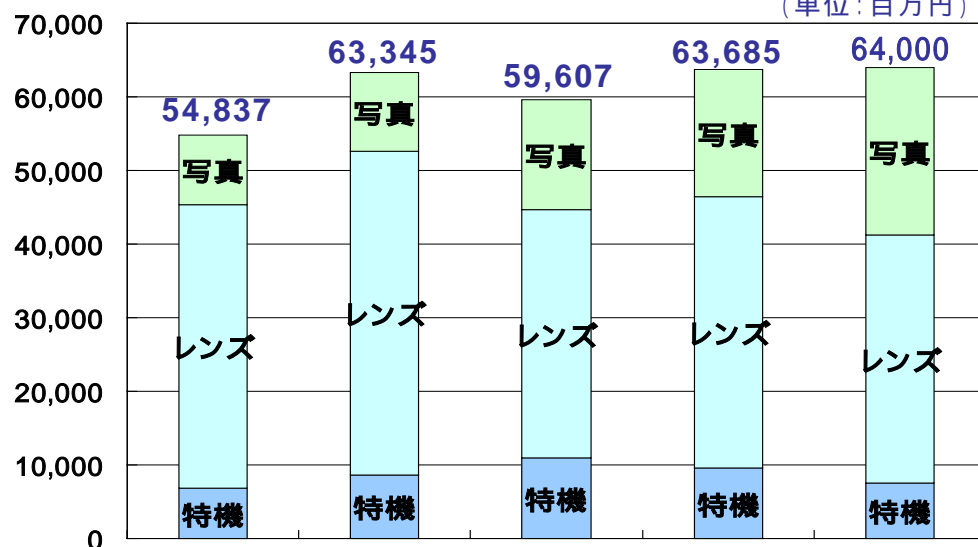




# -6. セグメント別推移

## 売上高

(単位:百万円)



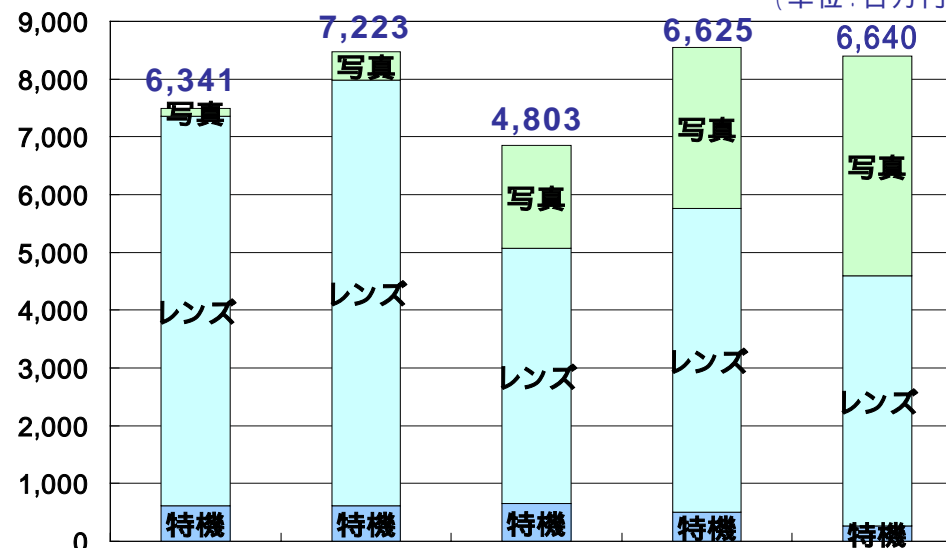
2003年(実) 2004年(実) 2005年(実) 2006年(実) 2007年(見)

写真	9,468	10,765	14,912	17,287	22,740
レンズ	38,519	43,980	33,800	36,766	33,770
特機 その他	6,849	8,599	10,894	9,631	7,490
合計	54,837	63,345	59,607	63,685	64,000
前期比	131.9%	115.5%	94.1%	106.8%	100.5%

\* (実):実 \* (見):見込

## 営業利益

(単位:百万円)

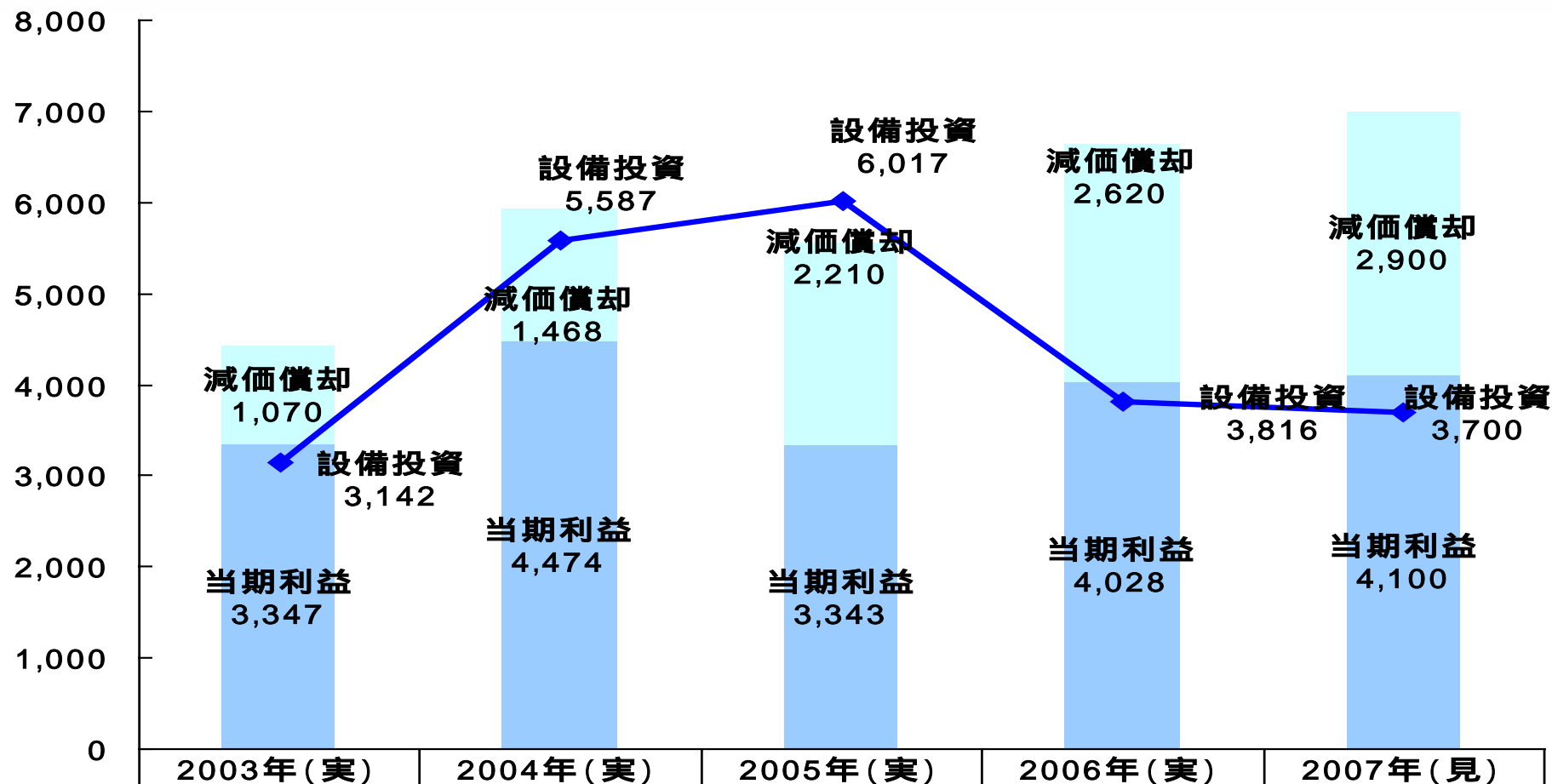


2003年(実) 2004年(実) 2005年(実) 2006年(実) 2007年(見)

写真	137	492	1,788	2,792	3,810
レンズ	6,741	7,363	4,418	5,254	4,330
特機 その他	610	620	649	505	260
消去又は 全社	1,147	1,253	2,052	1,927	1,760
合計	6,341	7,223	4,803	6,625	6,640
前期比	172.1%	113.9%	66.5%	137.9%	100.2%

# -7. 設備投資、減価償却

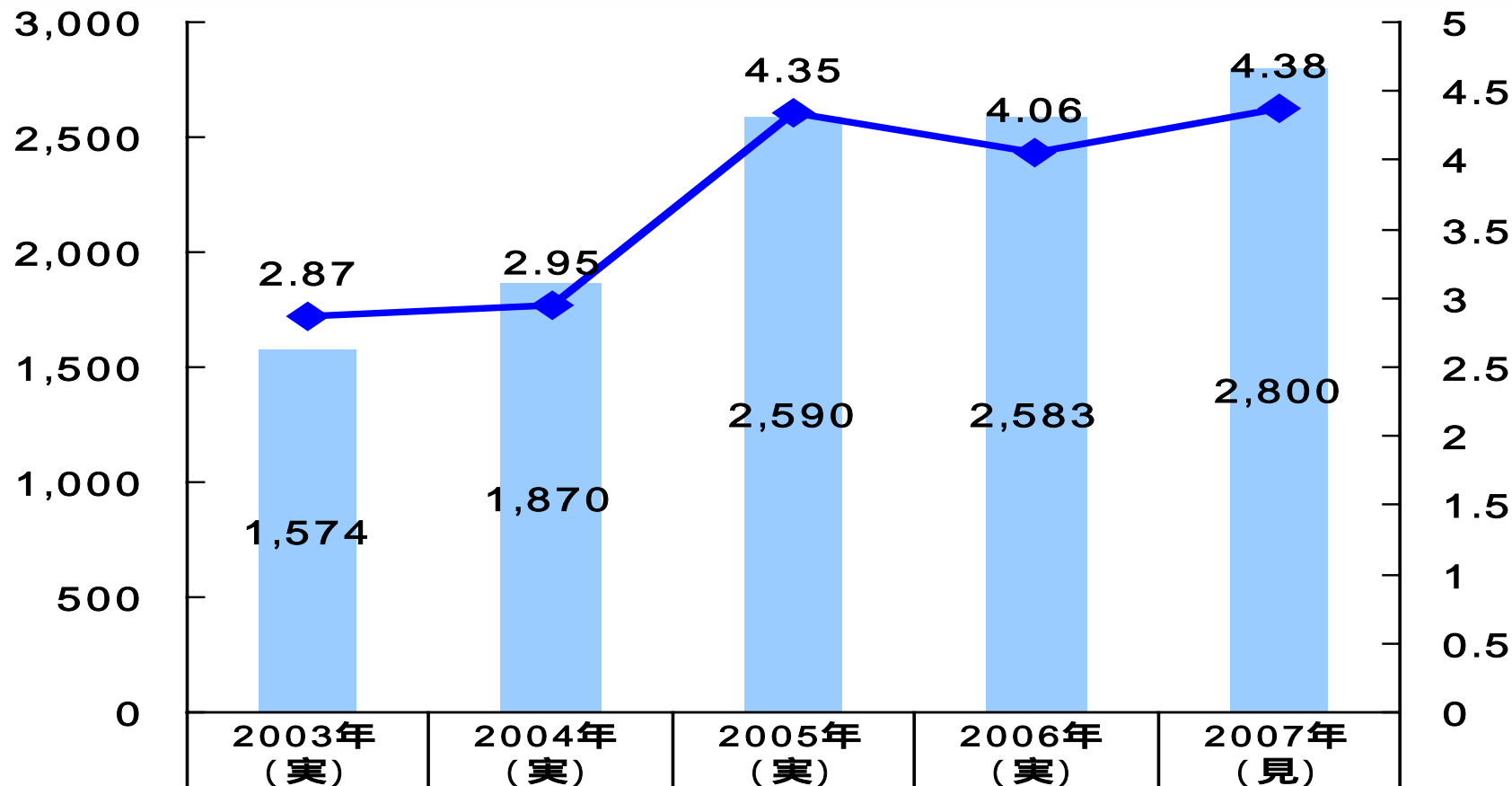
(単位:百万円)



減価償却	1,070	1,468	2,210	2,620	2,900
当期利益	3,347	4,474	3,343	4,028	4,100
設備投資	3,142	5,587	6,017	3,816	3,700

## - 8. 研究開発費

(単位:百万円)

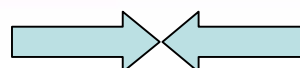


■ 研究開発	1,574	1,870	2,590	2,583	2,800
◆ 率	2.87	2.95	4.35	4.06	4.38

\* 売上高に対する研究開発費比率

## -9. 配当金の見通し

株式分割前



株式分割後



	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 (見込)
中間	—	7.50	* 1) 12.50	15.00	15.00
期末	10.00	12.50	20.00	* 2) 25.00	20.00
合計	10.00	20.00	32.50	40.00	35.00
配当性向 (連結ベース)	7.8%	12.4%	27.7%	28.0%	24.1%

\* 1)平成17年8月19日付けで行った1:2の株式分割による調整を反映しております。

\* 2) 記念配当5円を含む

# 中期戦略

# 産業の眼を創造貢献するタムロン®

## 2. 中期目標 (2009年)

**売上高: 700億円**

**営業利益: 75億円** (営業利益率 10%以上)

## -3. 2009年度 セグメント別

### 写真関連事業

2009年  
中期目標

売上高 : 25,760百万円

- ❖ 成長するデジタル一眼レフカメラ用レンズへの積極的投資
- ❖ OEM事業の体制強化



APS-Cサイズ相当デジタル一眼レフ専用レンズです。

## Di II レンズシリーズ

- SP AF11-18mm F/4.5-5.6 Di II (Model A13)
- SP AF17-50mm F/2.8 XR Di II (Model A16)
- AF 18-200mm F/3.5-6.3 XR Di II (Model A14)
- AF 18-250mm F/3.5-6.3 Di II (Model A18)
- AF 55-200mm F/4-5.6 Di II (Model A15)

## レンズ関連事業

売上高:33,240百万円

### 2009年 中期目標

- ❖ DSC、DVC市場は、コスト競争力の強化、海外生産シフトを一層進め、売上、利益の確保を図る。
- ❖ 携帯事業に関しては、高メガ短焦点・ズームを開発し、市場に投入する
- ❖ 魅力あるサプライヤーとして新技術による革新を進め、受選力を強化し、付加価値を高める。



デジタルカメラ用レンズ



携帯電話用レンズユニット



## 特機その他事業

売上高:11,000百万円

2009年  
中期目標

- ❖ CCTV事業は商品ラインアップを拡充し、市場占有率の拡大を目指す
- ❖ 車載関連 / 虹彩 / ロボット等の産業の眼の受注拡大
- ❖ プロジェクター光学デバイス事業は、技術基盤を確立し、事業の再構築を図る



CCTVレンズ



プロジェクター用プリズム

## -4. 2007年度の課題

1. 内部統制およびリスクマネジメント体制を確立し、コーポレートガバナンスの更なる向上を目指す
2. 「産業の眼を創造貢献するタムロン」として各事業とも魅力的な新製品を積極的に市場投入する
3. モバイルコンポーネント事業の拡充ならびに車載関連事業の推進
4. 光学技術を中心とした要素技術開発と知的財産戦略の強化推進
5. 海外生産ならびに海外調達、さらに国内工場の原価低減活動の一層の推進
6. 金型製造革新による新製品開発のスピードアップ
7. グループ管理体制強化による収益力強化
8. ERPシステム活用によるグループ全社的業務改革推進と適正在庫の維持管理
9. キャッシュ・フロー経営の推進と連結バランスシートの改善
10. ISO9001、14001の維持改善 TS16949(自動車産業界の品質マネジメント規格)の導入推進及びCSR(企業の社会的責任)への取組強化

# 将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2006年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。